

中央アジアにおける牧畜社会の歴史生態学的展開

今村 薫（名古屋学院大学・現代社会学部）

中央アジアは古くはシルクロード交易と南北交易によって「文明の十字路口」といわれ交易路のイメージが強いが、歴史的にも、あるいは中国の一带一路政策が注目されている現代においても、実際は地域独自の人間活動が生起してきた場所である。中央アジアは単なる通過点ではない、という認識が本分科会を開く問題意識であり、その内実を歴史生態学的観点から問う。

自然環境、社会経済的状况の変化に応じて、家畜の形態や群れ構造は変容し、人間の社会もそれに応じた変化をする。この相互作用が「歴史生態」であり、中央アジアにおける歴史生態を、文化人類学、生態学、遺伝学、歴史学、考古学の観点から解明することが本発表の目的である。

歴史軸の中心に「家畜化」をおく。中央アジアはウマ、ラクダなどの大型家畜の起源地であるが、「家畜化」とはその始源のみならず、動物の肉、乳、皮、毛、運搬力、移動能力などを次々と引き出す、現在にまで連続する人間と動物の相互交渉の場を意味する。とくに、大型家畜は、肉・乳などの食用、毛・皮・骨の衣服や道具、工芸品への利用、糞の燃料利用、そり、荷車、井戸の引き綱などの牽引、人がまたがる騎乗、荷役を載せる運搬、儀礼の文脈でみられる象徴的使用など多岐にわたる。そしてこれらの利用は、時代に応じて食糧増産、芸術、交易、戦闘というかたちで、人類史を推進してきた。また、ウマ、ラクダは地域によっては未だに半野生的であり、自律的に群れを形成して暮らしている。人間が家畜の探索と捕獲に、毎朝数時間かける場合もある。これらの意味で、大型動物は現在も家畜化の過程にある。家畜化とは、自然—動物—人間の相互作用の連続体なのである。

中央アジアには先史時代から現在まで、多くの遊牧民、農耕民、交易商人が暮らし、食料を生産し生存する場であり続けてきた。とくに、古代から現在まで様々な遊牧民が生業活動を繰り広げ、その延長上に交易も存在したのである。ネイチャー誌に発表された最新の研究（Frachetti 2017）によると、古代のシルクロードは 4000 年前以降の遊牧民の移動パターンによって形づくられたという。人間が遊牧によって自然資源を利用してきたことが、交易ルートの地理的特性に影響を与えてきたのである。大国間の交易を可能にしたのは遊牧民の生業活動であった。

この中央アジアを諸民族が相互に影響し合う一繋がり地域として理解するために、「牧畜連続体」と

いう観点を導入する。牧畜社会の特徴は、人間が家畜群とともに移動する技術をもった社会であることであり、牧畜とは人間と家畜群が共生したときにはじめて可能となる生活様式である。そのため、牧畜社会にとって家畜とは単なる経済的手段でなく、社会制度や時間観念、社会の倫理や社会組織などと密接に関わってきた。

また、家畜のみでの栄養学的な自給自足は難しく、多くの牧畜社会は、周囲の農耕民や狩猟採集民と交易したり牧畜社会自身が補足的に農耕や狩猟・漁撈・採集をしたりする傾向がある。牧畜民は家畜を介して自然環境と結びつき、彼らの親族組織や社会制度が家畜群の影響を受け、さらに家畜群と人間家族の共生的発展のために、他集団との物品の交換や人の移動を盛んに行ってきた。

この複合的な関係は「牧畜連続体(Pastoral Continuum)」(Spencer 1997)といわれる。スペンサーはアフリカの牧畜民研究をもとに、近年牧畜民が直面している環境問題（砂漠化）や社会問題（周辺化・貧困化）に対する彼ら自身の「伝統」の弾力性を強調し、牧畜民以外を含む複数民族がダイナミックに相互作用しつつ、全体として共存している状態を「牧畜連続体」と概念化した。

以上の研究を踏まえ、中央アジアの牧畜社会を「牧畜連続体」の観点からとらえなおすことにより、環境利用、経済活動、民族間関係の歴史的展開を統合的に理解できると考える。本分科会においては、各専門分野の研究者が中央アジア諸民族を、独自性を有する「牧畜連続体」ととらえる視点を共有することで、中央アジアの気候変動にともなう砂漠化や雪害などの環境問題、現代の牧畜民による家畜の個体認識、18 世紀カザフ草原における長距離交易と家畜取引、青銅器時代における初期農耕牧畜の成立と波及、先史時代の中央アジアにおける人類の移動、という時間軸に沿ったそれぞれの時点から見えてくる共通の問題点を明らかにし、中央アジアの歴史生態学的実相に迫る。

Frachetti, M.F., C. Evan Smith, C. M. Traub, T. Williams
2017 Nomadic ecology shaped the highland
geography of Asia's Silk Roads, *Nature* vol. 543,
193-208.

Spencer, P. 1997 *The pastoral continuum: The
marginalization of tradition in East Africa*, Oxford

キーワード: 中央アジア、家畜化、牧畜連続体、牧畜社会、歴史生態